自体の統一戦線への[illegible]圧力の未熟等の錯雑の困難なる原因によるものであるが、即ちブルジョア的産業の合理化の進行は急速にかゝる困難を克服すべき可能性と見透しを暗示する如くである。最近の労働争議[illegible]闘争其他の闘争に於て未組織大衆が組合の指導なくして自発的に[illegible]す果敢なる闘争に参加し、更に近くは青バス従業員が協調主義組合を破って全国的同盟に参加し、旧総同盟大阪聯合会を中心とする組合員大衆が総て、同盟第三次分裂を契機として階級的大衆的組合の結成へと邁進せる如き、党に階級戦線統一の要望が着々と成熟しつゝある如き[illegible]ル我国労働組合運動の方向を物語なルのであらう。今日我国労働階級の当面の問題は、かゝる大衆自体の生長の傾向に即し、全労働大衆の利害を代表して、ブルジョアジーと抗争するにある。更に二の[illegible]闘争のために全労働大衆を常に動員し階級的統一戦線を結成する[illegible]一切の実践理論はこの任務の下に統一されてのみ階級的意義を見出す。

四、組合同盟の指導精神

我等の同盟は創立以来三ヶ年、客観的情勢の適確なる認識の上に[illegible](一)無産階級政治運動への正しき進出(二)極左右両翼の運動方針排撃[illegible]て労働組合運動に於ける正道の確立(三)無産階級戦線の統一(四)当面[illegible]に対する大衆的闘争の組織を以って我等の運動方針の四大大綱として今日に至って居る。この四大大綱は光輝ある同盟第一回の宣言する戦略であるが、現下の急速なる客観的情勢の推移の中に在ても何等変更の必要を認めない。否、我等の同志の血みどろの闘争の上に一層の光を投げつゝあるを確信す」。

今我等の四大大綱の其後の発展を補足すれば次の如くである。

(一)階級的政治運動への正しき進出。我等は日本労農党を以って我国に於ける無産階級の階級的大衆政党たりとし、現下の緊急事たる政治的自由獲得のための大衆的闘争を通じて無産階級政治戦線統一の中堅たらしめんとした。我等の大綱は今日階級的大衆的統一政党たる日本大衆党の裡に浸潤して居る。我等の大衆的政党は党の構成員の思想と主張の左右たるを問はず、終始一貫民主的中央集権の規律の下に党を強化し、政治的自由獲得――無産階級の徹底的解放のために闘争する全大衆[illegible]のである。我等の同盟は日本大衆党の強化と政治的自由獲得の団結の闘の闘争のために党と協力し、同時に同盟政治部を確立して労働大衆の政治的要求を中心とする敏捷なる闘争を期すものである。

(二)労働組合運動に於ける正道の確立。我等の同盟創立以来支配階級との果敢なる抗争に加はるに常に極左翼及び右翼の中傷と攪乱があった。併し我々は過去について多くを語るを要しない。今日目前に展開されつゝある事実が雄弁に我等の三年間の忠実なる苦闘に答へてゐる。極左翼幹部は嘗ては全面的政治闘争の名にかくれて困難なる労働組合運動を